

【議会報告会】

○中学校給食センターの建設場所は決定したのか。

農業センターの敷地内に建設するとなれば、周辺が子どもの通学路であるので、建設時から運用開始後まで安全を確保する必要がある。また、県地区市民センターには駐車場が少ないため十分な駐車場を確保することや、あがた保育園の駐車場からは道路を横断して園内に入らざるを得ないという問題もある。そのほか、工事等による騒音などにより静かな周辺環境を阻害しないようお願いしたいし地元の野菜も給食センターで利用してもらいたい。

⇒議員 農業センターの再整備事業については、中学校給食センターとの一体整備ということで、予算常任委員会全体会でも審議した結果、用地測量・アスベスト調査、樹木園伐採整地工事にかかる予算が可決した。農業センターの設計や工事の予算については再来年度以降となるので、その際に改めて審査するが、議会としては、農業センターの敷地内に中学校給食センターを整備することを認めたというのが現状である。ただし、農業センター再整備事業に関する予算については、本会議において、地元の懸念を解消するために十分な説明を行うなど地元の理解を得るよう努めるように、という趣旨の附帯決議が付されたところである。

○農業センターの再整備については、中学校給食センターとの一体整備ということになり、いつの間にか中学校給食センターが主になっている。今後農業センターをどういった施設にしていくのか。

⇒議員 農業再生戦略会議では農業センターに期待される機能として「6次産業化のための実践・試作の場の提供」「『儲かる農業』の実現に向けた研修」「新規就農者への技術研修」「三重県や民間活力との連携」「食育や農業体験の場」「農業者の相談窓口」が提案されている。また、農家、関係機関、地元自治会等からは「一般市民向けの農業の総合的な相談窓口」「先端技術などの情報発信の場」「食育・農業体験のできる施設」「地元特産品の情報発信・販売・試作の拠点」「農業者が研修・会議のできる場」「市民菜園としての利用」などの意見が出されている。市では来年度からこれらの提案・意見の中で未実施の部分を実施していく予定である。

○四日市市にシティプロモーション部が設置されたが、今後四日市市は観光事業にどのように取り組んでいくのか。例えば外国客船の寄港についても乗客が四日市市で色々なことができるような事業を考えてもらいたい。

⇒議員 外国客船については、5割以上の乗客が四日市市の市街地で過ごしたという結果が出ている。その際にいかにお金を落としてもらうかという仕組みづくりが課題であるということは市でも認識している。

⇒議員 シティプロモーションの意義は観光というキーワードで地方を創っていくことである。四日市市には観光資源は多いが1か所に数時間滞在しただけで終わってしまうので、土産物や外国語に対応できる人材を含めた観光コースをきちんと設定する必要があると考えている。

○工場夜景クルーズの案内ガイドなど市内の観光施設ではボランティアが活躍しているが60代70代の方が主であるので、持続させていくことが課題である。そのために市がそういった人を育てるなど持続可能な環境を整えるべき。また、併せてインバウンドに対応できるような体制を整えるべきではないか。

⇒議員 インバウンド対策については、外国人観光客は地元の人との交流、地元でしかできないことを体験することに重点を置く傾向があるので萬古焼体験や茶摘み体験など体験型の観光を提供していく必要があるということを市に指摘している。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：農業について》

○農業センターにある竹の粉碎機が需要増のためか借りられない。竹粉は作物に良い影響を与えるという研究結果もあるし、茶農家などからも竹粉を使いたいという声も聞くが、供給者が少ないのが現状である。そのため、農業センターで粉碎機を購入して地元で貸し出し、地元のボランティアで竹林整備をしながら竹粉を作って農家等に供給し、質の良い作物を作っていくといった取組みも考えられるので、そういった仕組み作りのために農業センターを活用してもよいのではないか。

⇒議員 粉碎機が不足していることについて担当部局に確認する。

○竹林の所有者がわからない場合は整備することが難しい。竹林整備やスズメバチなどの害虫対策も昔は市で対応してもらえたが、数年前から対応してくれなくなったのはなぜか。

⇒議員 竹林対策、害虫対策がなぜなくなったのかということについて担当部局に確認する。

○子どもたちに農業に関心を持ってもらうため、農業体験を水沢地区で開催しているが、獣害被害が非常に多いので電柵を設置しており費用がかかる。市に補助金の問い合わせをしたら、1軒単位では補助の対象とならない、数軒での申請が必要であるとの回答だったので補助対象を広げるなど検討してほしい。

⇒議員 獣害対策の補助制度について考え方を担当部局に確認する。

○茶業振興センターは営業時間が決まっているがほとんど時間どおり営業していない。市が指定管理で運営しているならば定期的なチェックをする必要がある。

⇒議員 市が指定管理業者と毎月調整会議を行って運営状況等を確認しているが、契約上の不履行が無かったか日報等を含めて確認したい。

○農業センターについては、ゴマを栽培する際にその方法を親切に教えてもらった。最近ではインターネットで栽培方法を調べられるが、その地域や気候に関する情報を得られたのは良かった。

○農家の方からは作った作物を加工して販売する場所がないという話も聞くので、農業センターにそういった機能を持たせることも1つの考え方ではないか。

⇒議員 国による農業に対する支援政策などを農業センターが調べ、農家に情報提供していくなどの役割が持てればよいと考える。

⇒議員 農業センターが新しい農業技術や仕組みを確立し若い世代に提供していくならば意義は高まる。例えば日本の農作物は海外では高値で売れるので、海外で販売するための仕組みづくりを農業センターが担っていくならば予算を投じていく価値もあると考える。